

都市再生整備計画

ちょうせいむらちゅうおうちく
長生村中央地区

ちば ちょうせいむら
千葉県 長生村

平成19年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	千葉県	市町村名	長生村	地区名	長生村中央地区	面積	946 ha
計画期間	平成 19 年度 ~ 平成 23 年度	交付期間	平成 19 年度 ~ 平成 23 年度				

目標

大目標: 安心と安全を確保し潤いのある生活しやすいまちづくりをめざす。

目標1 安全に歩け快適に走れる道路整備の推進

目標2 災害時に備えた防災対策の推進

目標3 安心して利用できる公共施設の整備

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

①本村は、千葉県の房総半島九十九里浜に面し、東京都心から約80キロ、千葉市から約40キロの距離にあり、年間を通して温暖な気候である。

②当地区の道路は、幹線道路である国道、県道と1級村道の一部が南北、東西を軸に格子状に貫き、その間を他の1級村道と2級村道等が同様に格子状に配置された特徴的なパターンを有している。また、平坦な地形のため道路景観は村の主要景観であり、「屋敷林」「楨の生垣」などは村の景観を形成する基軸である。本村の道路整備については、総合計画に示されている「安心して歩ける道路・安心して走れる道路づくり」目指し、村の道路整備計画との整合性を図りながら公共施設周辺道路の整備や通学路への歩道設置を重点に実施してきた。これらの整備によって、村内の主要道路の多くは増加し続けてきた交通量に対応できる道路機能を有するようになり、公共施設周辺や学校周辺の1・2級村道には歩道や自転車・歩行者道が設置され利用者の安全が確保されている。しかしながら、その他村道の整備は、これに追いつかない状況にある。中でも通学児童が集中する学校周辺では、歩行者空間の確保が急務となっている。このような状況の中で、歩行者の安全確保を図るため、歩行空間の確保や安全性・快適性の観点から交差点改良及び道路標識等の整備に計画的に取り組んでいる。

③当地区は海岸に接し、地形は海拔2～6m、勾配は東に向かって1/1000と極めて平坦であるために、地震の際の津波を警戒しなければならない。また、台風等の大雨の際には雨水の滞水による災害が度々発生している。これらの災害に備え、防災行政無線などの防災関連施設を計画的に整備してきたところである。しかしながら、平成16年の台風22号が来襲した際には、海岸地域一帯が冠水し非難勧告を発令する事態となり、107世帯、319人が避難所に避難する災害となった。この災害時に、経年経過によって老朽化した防災行政無線の不具合で、一部の地域に情報が伝達されない事態が生じた。伝達されなかった地域には職員や地元消防団員が一世帯ずつ情報を伝えたために、伝達が完了するまでにかなりの時間を要した。このような災害を教訓として、現在、多機能な防災行政無線の再整備や災害発生箇所の改修及び地域防災組織の育成等長生村地域防災計画に基づき計画的に実施し、災害に強いむらづくりを目指している。

④当地区の公共施設は建設から相当な年数が経過したために老朽化が進み耐震性などに問題があり、使用するには危険と思われる施設がある。施設の中には避難所として指定しているものもある。このような施設の改修のための的確な現況把握をし、計画的な整備を進めている。

課題

①学校等の公共施設周辺の道路で、歩行者が歩行空間を確保できないために交通事故が予想される路線の改良が必要である。

②災害発生時の円滑な情報伝達のために老朽化した防災行政無線施設を多機能型の施設に更新整備すること並びに台風等の災害時に浸水被害が発生する地域の整備が必要である。

③昭和37年に建築した長生中学校校舎が経年経過により老朽化し、耐震性にも問題があるために建て直す必要がある。

将来ビジョン(中長期)

・総合計画

「人間性豊かな健康で住みよい村 長生」の実現のための主要な課題として、安心と安全の確保を掲げている。具体的に当地区は、太平洋に面した平坦な地形条件をふまえ津波・水害に対して備えることや安心して歩ける道路・安心して走れる道路づくりに努めることが示されている。

・まちづくり基本方針

まちづくりの課題として、より安心・快適な暮らしのために整えられたまちづくりをする位置づけ、具体的に水害・地震災害に強いまちづくり、快適で楽しい日常生活のための地域環境の整備を示している。

目標を定量化する指標

指標	単位	定義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
交通事故件数	件	学校周辺の道路での歩行者と車の接触事故件数	歩行者の歩行空間を整備することにより危険箇所を解消し接触事故をなくす。	10	平成19年度	0	平成23年度
道路交通安全性の満足度	%	道路交通安全性上の満足度(村民アンケート)	歩行空間の整備を推進することにより交通安全上の満足度のアップを目指す。	27	平成19年度	54	平成23年度
防災行政無線施設の機能向上	種類	防災行政無線施設の伝達機能数	防災行政無線施設の機能を向上させることにより災害時の様々な情報を迅速かつ的確に伝達できるようにする。	5	平成19年度	8	平成23年度
浸水戸数	箇所	台風等の災害で常に浸水被害が発生する箇所	排水路を整備することにより、雨水の排水能力を高め浸水戸数を減らす。	30	平成19年度	0	平成23年度
長生中学校校舎耐力度	点	中学校校舎の安全性を耐力度で表示	老朽化した中学校校舎を建て替えることにより生徒が安全に授業を受けられるようにする。	3000	平成19年度	10000	平成23年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>方針1:歩道空間の確保などの道路環境整備を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共施設へ通じる道路や学校周辺の通学路等に歩行空間を確保するための整備を進める。 ・JR外房線鯉名踏切を歩行者が安全に通行できるように改修整備する。 ・来訪者の利便性向上のために主要交差点に地名板や公共施設への案内板を設置する。 	<p>道路改良事業・村道1-3号線(鯉名踏切)・村道2-7号線・村道2-14号線・村道1160号線・村道2157号線他2路線・村道3058号線・村道3207号線・村道3212号線【基幹事業/道路】、地名板・公共施設案内板等整備事業【基幹事業/地域生活基盤施設】</p>
<p>方針2:災害に強いむらづくりを推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成2年に開局した防災行政無線が老朽化し不具合が生じているため、多機能な施設に更新整備し、今後地域防災組織結成のための基幹施設とする。 ・防災用品を備蓄するための防災備蓄倉庫を整備する。 ・避難場所を明示し誘導する避難場所・避難誘導標識を設置する。 ・大雨時に雨水が溢れ、浸水被害の原因となっている排水路を改修整備する。 	<p>防災行政無線整備事業【基幹事業/地域生活基盤施設】、防災倉庫整備事業【基幹事業/地域生活基盤施設】、避難場所・避難誘導標識整備事業【基幹事業/地域生活基盤施設】、排水路整備事業【提案事業/地域創造支援事業】</p>
<p>方針3:公共施設の安全性の向上を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化し耐震上も問題のある長生中学校の建替えを行う。 ・尼ヶ台総合公園の冒険子供広場内の老朽化した遊具を整備する。 	<p>長生中学校増改築事業【提案事業/地域創造支援事業】、尼ヶ台総合公園遊具整備事業【提案事業/地域創造支援事業】</p>
<p>その他</p> <p>事業終了後の継続的なまちづくり活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・風水害、震災等の防災対策として、防災行政無線等の防災施設の充実や災害危険箇所の整備を図るとともに、地域防災組織の育成強化を推進する。また、住民参加による防災訓練等を実施し、住民の災害予防に対する意識を高め、住民が安心して暮らせる災害に強いむらづくりを目指す。 	

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	850	交付限度額	340	国費率	0.4
---------	-----	-------	-----	-----	-----

(金額の単位は百万円)

事業		事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
細項目	開始年度					終了年度	開始年度	終了年度						
道路	村道1-3号線(鯉名踏切)	長生村	直	L=60m	平成20年度	平成22年度	平成20年度	平成22年度	125	125	125		125	
道路	村道2-7号線	長生村	直	L=360m	平成19年度	平成20年度	平成19年度	平成20年度	37	37	37		37	
道路	村道2-14号線	長生村	直	L=300m	平成19年度	平成22年度	平成19年度	平成22年度	104	104	104		104	
道路	村道1160号線	長生村	直	L=640m	平成21年度	平成23年度	平成21年度	平成23年度	69	69	69		69	
道路	村道2157号線他2路線	長生村	直	L=600m	平成19年度	平成21年度	平成19年度	平成21年度	72	72	72		72	
道路	村道3058号線	長生村	直	L=660m	平成19年度	平成21年度	平成19年度	平成21年度	90	90	90		90	
道路	村道3207号線	長生村	直	L=600m	平成19年度	平成22年度	平成19年度	平成22年度	72	72	72		72	
道路	村道3212号線	長生村	直	L=530m	平成21年度	平成23年度	平成21年度	平成23年度	52	52	52		52	
公園														
河川														
下水道														
駐車場有効利用システム														
地域生活基盤施設		長生村	直		平成19年度	平成20年度	平成19年度	平成20年度	73	73	73		73	
高質空間形成施設														
高次都市施設														
既存建造物活用事業														
都市再生交通拠点整備事業														
土地区画整理事業														
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
地区再開発事業														
人になやましいまちづくり事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地総合整備事業	拠点開発型													
	沿道等整備型													
	密集住宅市街地整備型													
	耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計									694	694	694	0	694	

…A

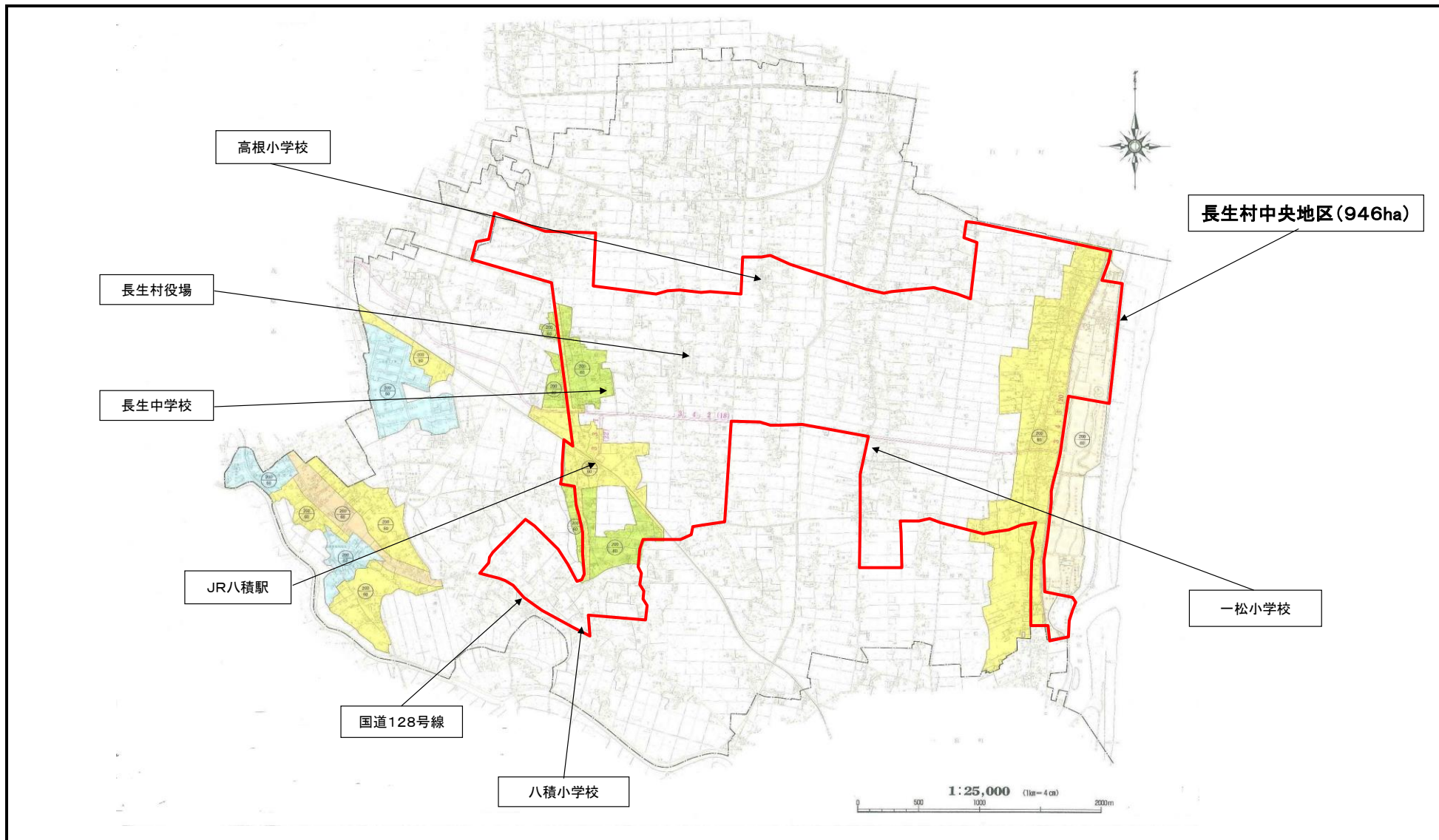
事業		事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
細項目	開始年度					終了年度	開始年度	終了年度						
地域創造支援事業	排水路整備	一松鷲地区	長生村	直		平成19年度	平成22年度	平成19年度	平成22年度	70	70	70		70
	長生中学校増改築	長生中学校	長生村	直		平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	80	80	80		80
	尼ヶ台総合公園遊具整備	尼ヶ台総合公園	長生村	直		平成20年度	平成20年度	平成20年度	平成20年度	6	6	6		6
事業活用調査														0
														0
まちづくり活動推進事業														0
														0
合計									156	156	156	0	156	

…B

合計(A+B) 850

都市再生整備計画の区域

長生村中央地区(千葉県長生村)	面積	946 ha	区域	長生村高根の一部、八積の一部、一松の一部
-----------------	----	--------	----	----------------------



長生村中央地区(千葉県長生村) 整備方針概要図

目標	安心と安全を確保し潤いのある生活しやすいまちづくり	代表的な指標	交通事故件数 (件)	10	(H19年度) →	0	(23年度)
			道路交通安全性の満足度 (%)	27	(H19年度) →	54	(23年度)
			防災行政無線子局機能向上 (-)	1	(H19年度) →	1.6	(23年度)

